

仙台市主催の一時滞在場所開設訓練に参加しました

開催日：2023年11月8日

仙台長町未来共創センター(以下長町 FC)は、公共交通機関停止時の帰宅困難者一時滞在場所となっているため、当社(株)フクダ・アンド・パートナーズは長町駅周辺帰宅困難者対策連絡協議会に参加しています。

11月8日には協議会事務局である仙台市減災推進課を中心に、コロナ禍明け2回目となる令和5年度長町駅周辺帰宅困難者対応訓練が行われ、運営スタッフ役・帰宅困難者役等合わせ計78名が参加いたしました。



長町駅周辺の一時的滞在場所は、ゼビオアリーナ仙台・KHB東日本放送ぐりりスポーツパーク・長町 FC の3か所となっていますが、今回はそのうちぐりりスポーツパークと長町 FC が開設する想定での訓練となりました。

今回長町 FC では運営スタッフ役として(株)フクダ・アンド・パートナーズ・(株)東北丸和ロジスティクス様より計6名が参加。長町駅にて被災した帰宅困難者役を車両にて長町 FC に搬送し、受け入れ対応を行いました。帰宅困難者役には長町 FC 入居テナントの(株)日本空調東北様、日新工業(株)様、東急プロパティマネジメント(株)様より5名の方にもご協力をいただきました。帰宅困難者役の方の中には、高齢者疑似体験セットを装着し、歩行や視覚、聴覚に制限がある方、体調不良の方、日本語の通じない外国の方などがいらっしや、個別にどのような対応が必要となるか、試行錯誤しつつ受け入れを行いました。今回の訓練で新たに出た課題を解消するべく、今後も仙台市や協議会と連携を図り、緊急時に迅速に動くことのできる体制を整備してまいります。



長町駅周辺帰宅困難者対策連絡協議会とは？

長町駅周辺における帰宅困難者対策を推進するため、関係者が連携、協力し、災害発生時の混乱を防ぐことを目的に平成30年6月に「長町駅周辺帰宅困難者対策連絡協議会」を設立しました。(仙台市HPより)
(株)フクダ・アンド・パートナーズは一時滞在場所として、令和4年度より協議会に参加しています。

訓練内容

- (1) 現地対策本部の設置及び運営訓練
- (2) 緊急退避場所の運営訓練
- (3) 一時滞在場所の運営訓練

訓練により出た感想・課題

- ・英語が通じないアジア圏の外国人の対応が大変困難であった。(運営スタッフ役)
- ・体調不良者が回復した場合に、すぐに一般の帰宅困難者と同じ居室に戻していいかの判断が難しい。(運営スタッフ役)
- ・外国人の対応にあたり、翻訳アプリの使用に慣れておく必要があると感じた。(運営スタッフ役)
- ・携帯電話の充電可能場所のアナウンスが欲しい。(帰宅困難者役)
- ・避難誘導の流れと避難場所の状況を把握しイメージがつかめた。(帰宅困難者役)